

クセのある物語文を読み解く（国語の取り出し）

蔭山育子（大阪市教育委員会 日本語指導員）

1 子ども	小学5年生（日本生まれ）中国ルーツ
2 目標	「注文の多い料理店」の内容がわかる
3 活動	古典から現代語への過渡期にある作品（混ざった文体、現代語に近い古文の単語が使用）でもストーリーがわかるよう、展開に沿って、記述されている文章を図化（絵を描く）していく。
4 工夫	始めの扉はこちらで完成させたものを用意し、子どもにどこに色や様子が書かれているか探させることで、「あ！わかるかも！」という気持ちにさせ、記述通りの扉が書けたら大いに褒める。また、「〇〇さんならこのクリーム顔に塗る？」など子どもと対話しながら読み、想像力を膨らませる。

資料（種類： A4用紙 ）

